

「令和2年度若年技能者人材育成支援等事業」推進計画

令和元年度の事業実績を踏まえ、中小企業や工業高校等での実技指導等におけるものづくりマイスター、ITマスター（以下「ものづくりマイスター等」という。）の積極的な活用、イベント等の啓発事業の充実を図るとともに、引き続き企業、教育関係機関や技能士関係団体等の連携を図り、より一層効果的な事業を推進する。

1 ものづくりマイスター等の活用事業

(1) 相談窓口の設置

技能振興コーナーに窓口を設置し、若年技能者の人材育成に係る相談・援助を行う専任者を配置する。

(2) ものづくりマイスター等の発掘・認定手続等の実施

実技指導ニーズの高い職種のものづくりマイスター等を掘り起こし、認定申請手続を支援する。また、認定されたものづくりマイスター等に対し、指導技法等講習会を実施する。

(3) ものづくりマイスター等の制度の紹介

企業訪問に重点を置き、さらに広報媒体等を活用し、制度の紹介の充実を図る。

(4) ものづくりマイスターの派遣による実技指導の実施

中小企業や教育関係機関等にもものづくりマイスター等を派遣し、技能競技大会の競技課題や技能検定の実技試験の課題を利用し、高度な技能の習得を支援する。

(5) 「ものづくりの魅力」の発信（工業高校を除く）

① 小中学校等の児童・生徒・教師及び保護者等を対象に、ものづくりに携わる者の魅力体験談を語り、製作実演やものづくり体験を行う。

② 児童・生徒等を対象に、事業所のものづくりマイスターによる講義や製作実演を実施する。

③ 地域若者サポートステーションの要請に応じて、ものづくりマイスターを活用した「ものづくり体験」等を実施する。

④ 一人親方や自ら事業を営んでいるものづくりマイスターが働く職場に、職場体験実習の実施を要請し、協力が得られた場合、学校等に参加者を呼びかけ、職場体験実習を実施する。

2 地域における技能振興事業

〈技能五輪全国大会等〉

(1) 技能五輪岡山県予選会の実施

岡山県予選会を技能検定で実施する競技職種を除いた競技職種で実施する。

(2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会の参加支援

両大会に参加する若年技能者が参加する場合に、選手及び指導者の参加旅費、工具の運搬費の援助を行う。

(3) ブロック開催イベントへの参加

ブロック開催のイベントに際しては、要請に従い幹事県を軸に、各県コーナーと協力して取り組む。

〈技能尊重気運の醸成〉

(1) おかやまものづくりフェア 2020 の開催

ものづくりを身近に感じ、見て、触れて、体験できる県民参加型のフェアを開催する。

- 開催時期：令和2年11月開催予定
- 会場：コンベックス岡山 中展示場
- 開催内容：
 - ・ものづくり体験コーナー及び職人の技実演コーナー
 - ・「現代の名工」などによる作品展示
 - ・競技大会の岡山県選手の活躍をパネルで紹介
 - ・ロボットを活用した「IT技術の体験等」
- 来場者目標：5,000人

(2) 小中学校等の児童・生徒へのものづくり体験教室の実施

ものづくりを直接体験することにより、作品を完成させる喜びを実感してもらい、技能の魅力、技能者の役割等について学ぶことができる「ものづくり体験教室」を実施する。

(3) ブロック単位でのイベントの実施

中央技能振興センターが全国各ブロック単位で行っているイベントに対して、要請があれば実施に協力していく。

- ① 技能士展の実施
- ② 技能競技大会展の実施

3 連携会議の開催

国、県、経済団体、民間企業等を構成員とする連携会議を設置し、年2回開催する。

年度当初に地域の産業特性や就業構造等を踏まえたものづくりマイスターや技能振興の取組、事業実施に当たっての連携・協力の在り方の方針決定、年末の年度総括及び次年度案の策定を行う。

構成員：18名

第1回：推進計画並びに実施計画の決定

第2回：年度見通し及び次年度推進計画案の策定